

2022卒

# 就職活動スケジュール 徹底解説

新型コロナウイルス感染拡大により、  
22卒の就職活動にも大きな影響が

2022卒（2020年6月時点で学部3年生／修士1年生など）の就職活動は、採用スケジュールの多様化／早期化といった傾向に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大、東京オリンピック・パラリンピック延期といったニュースもあり、不透明感が増えています。22卒予定の理系学生就職活動スケジュールはどのような日程になるのでしょうか。

「2022卒就職活動スケジュール徹底解説」では、就活スケジュールの見通しや注意点を解説します。

**2022卒の採用情報解禁は  
2021年3月、面接は6月開始**

経団連（日本経済団体連合会）の中西宏明会長は2018年9月の定例記者会見で、「現在の就職活動の指針（就活ルール）を2022年春入社の人から取りやめる」と発表し、企業・大学・政府など各方面で様々な

議論が持ち上がりました。しかしながら、就職活動における指針（スケジュールの目安）の急な撤廃は大きな混乱を招くことが予想されるため、政府を中心として議論が続けられました。その結果、「現行の日程が定着しつつあり、維持が望ましい」との意見が大勢を占め、2019年10月の「就活ルールに関する政府関係省庁連絡会議」において、「2022年卒の就活日程については、現行の2021年卒のスケジュールを維持」とする方針が決定しました。

現行（2021卒）の就活スケジュールを改めて確認すると、まず学部3年／修士1年の夏から冬にかけてインターンシップが実施されます。就活ルール上、就職活動が本格的にスタートするのは翌年（2020年）3月1日からで、この日から大手就職サイトでも企業の採用情報や会社説明会情報が数多く公開され、就活生も企業エントリーや説明会参

加といった活動を本格化させます。そして6月1日から企業の採用選考（面接や筆記試験など）が解禁となり、選考通過者に対して随時内々定が出されていく、というのが就職活動スケジュールにおける大まかな流れとなります。

**就活スケジュール、選考プロセスは  
企業ごとに多様化が進む**

前述の就職活動スケジュール、就活ルールはあくまで目安であって、実際はこの就活スケジュールに沿った採用活動を行う企業ばかりではありません。現在でも、学部3年／修士1年の秋以降から採用直結型のインターンシップを行う企業や、翌年の6月以前に面接を実施して早々に内々定を出している企業など、公表されている就活スケジュールに当てはまらない採用活動を行っている企業は少なくありません。特に近年は企業の採用活動が一段と早期化して

## 2022卒 就活スケジュールの見通し

昨年度の動きを参考にした2022年卒向け就職活動スケジュールの大まかな見通しです。企業の選考活動時期は多様化しているの  
で、志望企業・業界の選考スケジュールは個別にチェックしましょう。

2020  
6月

〔6月以降〕  
情報収集を  
スタート

気になる仕事・会社  
や就活の進め方  
などを理系ナビで  
調べましょう！

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2021  
1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

〔夏～翌年の春〕  
インターンシップに  
参加

22卒向けのサマーイン  
ターンシップは新型コロナ  
ウィルスの影響で例  
年より実施件数の減  
少が予想されています。  
秋から冬にかけてイン  
ターンシップを実施す  
る企業もあるので、夏  
に参加できなかったと  
しても諦めずに情報収集  
しましょう。

早期から採用活動を行う企業は秋頃から広報・選考を実施

〔3/1〕  
採用情報公開

エントリー受付、  
合同イベント・説明会

〔6/1以降〕  
採用選考

早期に内々定を出す企業が  
増えており、2020卒では半数  
以上の企業が5月末時点で  
内々定出し

おり、2020卒の就職活動では5  
月末までに55%（19卒同期比8.6%増）の  
学生が内定を受諾しているという調  
査結果が出ています（理系ナビ調べ）。  
さらに、以前は企業（経団連）が主  
体となって就活ルールを定めていた  
のですが、22卒では政府主導のスケ  
ジュールとなっており、就活ルール  
を順守する企業はさらに減ると見ら  
れます。採用活動の早期化が加速す  
る可能性があるため、3月1日の就  
活解禁日になってから動き出すの  
ではなく、早期からしっかりと情報収集

に取り組むことが一層重要になると  
いえるでしょう。

### 新型コロナウィルスや オンラインピックの影響は

2022卒の就職活動においては、  
新型コロナウィルスや東京オリ  
ンピック・パラリンピック延期の影響  
は避けられないでしょう。まず、新  
型コロナウィルスについては、就活  
スケジュールはもとより選考プロセ  
スに大きな影響が出ています。21卒  
の就職活動では、当初実施予定だっ

た就活イベントや説明会といったリ  
アル接触の場が延期・中止となり、  
急ぎよWEB説明会やオンライン面  
談などへ切り替えられました。22卒  
の就活においても、新型コロナウイ  
ルス問題の動向にもよりますが、不  
特定多数が集まるイベントやグル  
ープワーク選考などは減少する可能性  
が高いでしょう。面接においても、  
初期の面接はWEBで実施し、最終  
面接など後半の選考は対面とする  
ケースが予想されます。さらに、イ  
ンターンシップについても一部の企

業ではオンラインでのプログラム提  
供を検討しています。

2021年の7月開催に延期が決  
定した東京オリンピックについては、  
大規模施設・会場利用の面での影響  
が懸念されます。オンラインピックでは、  
実際に競技が行われる幕張メッセな  
どの大規模な会場だけでなく、関係  
者が使用する施設が早期から予約  
（2020年は6月頃から会場確保）され  
てしまうため、首都圏で外部会場を  
使用した説明会やイベントの実施が  
難しくなる可能性があります。

## 理系就活生は 将来について早めに考えよう

理系学生は卒業年次に学業が忙しくなるケースが多いため、就職活動が本格化する前に学業や研究、就活準備などを可能な限り進めておくことが望ましいでしょう。早期に内定を獲得できれば問題ありませんが、学部4年／修士2年の夏以降も就職活動に取り組む必要が出てくると、学業への影響はさらに大きくなってしまいます。

近年の理系就活生は、エントリー社数や説明会参加回数が減少傾向にあります。企業からも「学生の仕事や企業に対する理解が浅くなった」という声が出ており、十分な業界・企業研究ができていない理系学生が少なくないようです。入社してから\*

【就職した職場のイメージにギャップがあった】と感じている新社会人が

50・5%にも上るとい調査結果も

あります。内定獲得は社会に出るというプロセスの一段階目ではないので、自身が長期的に活躍、成長できる環境を丁寧に見極める必要があります。

現時点で将来の進路に少しでも迷いがあるなら、「なぜ就職するのか」「自分の本当にやりたいことは何なのか」といったことを今のうちからしっかり考えるようにしましょう。就職活動を通じて、自分の本当にやりたいことが見出せる場合もある一方で、様々な経験をして判断材料を集めてみてはいかがでしょうか。志望業界・職種など、自身の目指すべき方向が見えてくるかもしれません。

## 就活におけるインターンシップの重要性はますます高まる

将来について考える際、おすすめのインターンシップ（就業体験）です。インターンシップは仕事や会社についての理解を深められるので、自身の適性や本当にやりたいことを見極める絶好の機会といえます。さらに、インターンシップに参加した学生に対して優先的に採用選考情報を提供したり、採用直結型インターンシップの場合はそのまま新卒採用選考を実施したりする企業もあるため、参加メリットは少なくありません。

すでに多くの企業で2022卒向

けインターンシップはエントリー受付を開始しているので、WEBサイト「理系ナビ2022」で興味のあるプログラムを探してみてください。就職活動が本格的に始まる時期までに自分の適性や社会に対する理解を

深め、準備を進めてみてはいかがでしょうか。

※「新社会人の意識調査 2019」マクロミル調べ

## まとめ

現在進行中の2021卒就職活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で選考プロセスやスケジュールの変更を余儀なくされています。現在の状況を踏まえて2022卒就活における選考プロセス、スケジュールの見直しを検討する企業は少なくないでしょう。

22卒就活生は各企業が発信する最新情報をしっかりチェックし、早期から行動計画を考えることが一層重要となります。就職活動が本格化するまでの時間を活用し、社会についての理解を深めたり、自身のスキルアップに努めたりと、時間を有意義に使ってください。「自分が将来どうなりたいのか」「そのためにいま何をすべきなのか」この夏、考えてみてください。



## 2022卒 就活のチェックポイント

CHECK!

1

### 基本的な就活スケジュールは 21卒から変更なし

2022卒の就職情報解禁は2021年3月、面接解禁は6月から。  
22卒対象インターンシップは2020年夏から冬にかけて実施。

CHECK!

2

### 一方で基本スケジュールに先行して 採用を行う企業は増加傾向

2020卒の就職活動では学部4年／修士2年の5月末までに55%の  
学生が内定を受諾。早い企業は前年の秋から採用活動を開始。22  
卒就活では基本スケジュールにとられない企業がさらに増加か。

CHECK!

3

### 新型コロナウイルスの影響で 選考プロセスは大幅な変更の可能性

一部の企業がインターンシップ、会社説明会などの中止・延期を決  
定。2022卒就活でもインターンシップ、イベント実施件数の減少や、  
選考プロセス変更の可能性が高い。

CHECK!

4

### 就活のオンライン化が加速

新型コロナウイルス対策で、会社説明会や面接などをWEBでの実  
施に切り替える企業が増加。インターンシップについても、オンライ  
ンでのプログラムを検討している企業も。

CHECK!

5

### 企業選考における インターンシップ重視の傾向はさらに強まる

採用直結型のインターンシップを実施する企業が増加傾向。情報  
収集の面でもインターンシップ参加は就職活動における大きなアドバ  
ンテージになる。